

安全データシート

ページ: 1/14

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: NA-ETHYLATE SOL. 21 % / Na-Ethylate sol. 21 %

バージョン: 6.1

(30036708/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

NA-ETHYLATE SOL. 21 %

Na-Ethylate sol. 21 %

用途: 化学品

推奨用途: 原材料, プロセスケミカル, 化学合成用原料

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0V0L 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

引火性液体: 区分3

金属腐食性化学品: 区分1

急性毒性: 区分5 (経口)

皮膚腐食性: 区分1A

眼に対する重篤な損傷: 区分1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H226	引火性液体及び蒸気。
H290	金属腐食のおそれ。
H303	飲み込むと有害のおそれ。
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

注意書き（安全対策）:

P280	保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。
P210	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P260	ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P243	静電気放電に対する措置を講ずること。
P241	防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
P264	取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。
P234	他の容器に移し替えないこと。
P233	容器を密閉しておくこと。
P242	火花を発生させない工具を使用すること。
P240	容器を接地しアースをとること。

注意書き（応急措置）:

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P303 + P361 + P353	皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて取り除くか脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗い流すこと。
P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P363	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
P390	物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
P370 + P378	火災の場合：消火するために…を使用すること。

注意書き（保管）:

P405	施錠して保管すること。
P406	耐腐食性耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

注意書き（廃棄）:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: NA-ETHYLATE SOL. 21 % / Na-Ethylate sol. 21 %

バージョン: 6.1

(30036708/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

エアゾールの吸引によるリスクの可能性

急性毒性に関して未知の有害性を持つ成分の混合割合: 0 - 1 %, 経口

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

記載の物質に基づく調剤:

ソジウムエチラート, エタノール

GHS分類に寄与する成分

エタノール

含有量 (W/W): $\geq 75\%$ - $< 85\%$

CAS番号: 64-17-5

化審法: (2)-202

労働安全衛生法: (2)-202

引火性液体: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A

ソジウムエチラート

含有量 (W/W): $\geq 15\%$ - $< 25\%$

CAS番号: 141-52-6

化審法: (2)-204

労働安全衛生法: (2)-204

可燃性固体: 区分 1

自己発熱性化学品および混合物: 区分 1

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1A

急性毒性: 区分 4 (経口)

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

水酸化ナトリウム

含有量 (W/W): $\geq 0.2\%$ - $< 1\%$

CAS番号: 1310-73-2

化審法: (1)-410

労働安全衛生法: (1)-410

金属腐食性化学品: 区分 1

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1A

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。汚れた衣服は直ちに切り替える。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水で十分に洗い流した後無菌包帯を巻き、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ200 - 300 mlの水を飲ませた後、無理に吐かせたりせず医師の診断を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 皮膚に対する腐食性、眼の刺激性

危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末、乾燥砂、耐アルコール性泡

[使ってはならない消火剤]:

水、二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:

発熱反応の危険性あり。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

蒸気は大気より重いので、地表面に滞留し、遠い距離にある発火源まで達することがある。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。密閉容器は熱に暴露されると内圧が高まるため、加熱を避ける。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置]:

着火源を近づけない。保護具を着用する。吸入を避けること。皮膚および眼との接触を避けること。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。容器に汚染水／消火用水を取り集める。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: NA-ETHYLATE SOL. 21 % / Na-Ethylate sol. 21 %

バージョン: 6.1

(30036708/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

大量の場合: ポンプで容器に回収する。

残渣の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する (例: 砂、おが屑、珪藻土)。法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 物質/製品の放出は火災又は爆発を引き起こすことがある。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。湿気を避ける。加熱を避ける。

安全取扱注意事項:

あらゆる着火源 (熱、スパーク、裸火など) を近づけない。静電気放電に対する予防措置を講ずること。帯電防止器具を使用すること。装置及び器具は使用前に不活化 (窒素、不活性ガス) してアースを接続する。消火器常備のこと。

[保管]

酸および酸を生成する物質から離しておくこと。水から遠ざける。

適切な包装容器材料: カーボンスチール (鉄), ステンレス鋼 1.4401, ステンレス鋼 1.4301, 高密度ポリエチレン (HDPE), 低密度ポリエチレン (LDPE), 焼き付け, ガラス

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した換気の良い冷暗所に保管する。乾燥窒素下で保管すること。湿気を避ける。加熱を避ける。着火源から離して保管することー禁煙。

次の温度以下にならないように保護すること: 0 ° C

この製品は限界温度未満で結晶化する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

エタノール, 64-17-5;

STEL (short term exposure limit: 短時間 1,000 ppm (ACGIHTLV))

水酸化ナトリウム, 1310-73-2;

CLV (ceiling limit value: 上限値) 2 mg/m³ (ACGIHTLV)CLV (ceiling limit value: 上限値) 2 mg/m³ (日本産業衛生学会 許容濃度)

【保護具】

[呼吸用保護具]:

換気が不十分な場合は、呼吸保護具を着用すること。有機化合物（沸点65°C以上）のガス／蒸気用ガスフィルターEN 14387 A型

[手の保護具]:

耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）

長時間の直接接触でも問題ない素材（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること。）：

フッ素ゴム（FKM）、肉厚0.7 mm

ブチルゴム（ブチル）、肉厚0.7 mm

短期間の接触に適した素材（保護指針2に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1で、透過時間は30分以上であること。）

ニトリルゴム（NBR）、肉厚0.4 mm

ポリ塩化ビニル（PVC）、肉厚0.7 mm

クロロプレンゴム（CR）、肉厚0.5 mm

補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならない。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

[眼の保護具]:

サイドシールド（フレームゴーグル）（EN 166準拠）付きの保護眼鏡および保護面

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。蒸気／スプレーを吸入しないこと。労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	液体
色:	黄色～褐色
臭い:	特異臭, エタノール臭
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH:	約 11 (ISO 1148)
結晶化温度:	-5 ° C
沸点:	約 91 ° C
引火点:	23 ° C (DIN 51755)

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: NA-ETHYLATE SOL. 21 % / Na-Ethylate sol. 21 %

バージョン: 6.1

(30036708/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

蒸発率:

測定されていない。、値は、ヘンリー
則定数もしくは、蒸気圧から類推する
ことができる。

可燃性 (固体/ガス):

引火性液体及び蒸気。

(その他)

爆発下限界:

2.6 % (V)

(DIN 51649-1)

情報は溶媒に適用される

爆発上限界:

分類と表示に関連しない液体に関す
るものである。

19.0 % (V)

(DIN 51649-1)

情報は溶媒に適用される

自然発火温度:

分類と表示に関連しない液体に関す
るものである。

420 ° C

(DIN 51794)

熱分解:

自己分解性を示さない。

自己発火性:

自己発火性なし。

爆発危険有害事項:

爆発性なし。

火災を引き起こす性質:

火災伝播性はない。

蒸気圧:

約 31 mbar

(測定)

(20 ° C)

約 165 mbar

(測定)

(50 ° C)

密度:

0.878 g/cm³

(ISO 2811-3)

(20 ° C)

0.855 g/cm³

(ISO 2811-3)

(50 ° C)

相対ガス密度 (空気):

可燃性蒸気

水に対する溶解性:

加水分解する

(20 ° C)

湿度測定:

吸湿性

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):

適用せず

記載物質に関する情報: エタノール

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow): -0.31

(測定)

(25 ° C)

文献データ

粘度:

24 mPa.s

(DIN 51562)

(20 ° C)

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: NA-ETHYLATE SOL. 21 % / Na-Ethylate sol. 21 %

バージョン: 6.1

(30036708/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

動粘性率: 約 27 mm²/s
(20 ° C)

粒子特性

粒度分布: 物質/製品は固体や粒状以外の形状で流通もしくは使用されない。 -

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

あらゆる着火源（熱、スパーク、裸火など）を近づけない。大気との接触を避けること。湿気を避けること。

熱分解: 自己分解性を示さない。

[混触危険物質]:

水, 酸

金属の腐食: 腐食性あり :
アルミニウム

[危険有害な分解生成物]:

発熱反応。水および酸と反応する。

[危険分解物]:

水酸化ナトリウム, エタノール

11. 有害性情報

ばく露経路

急性吸入毒性

実験または計算によるデータ:

ラット (吸入による): 8 h (IRT (inhalation risk test : 吸入暴露試験))

動物実験において、前述の暴露時間内には、死亡はみられなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

急性毒性の評価

本品の毒性は、その腐食性に基づいている。

記載物質に関する情報 : エタノール

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

症状

皮膚に対する腐食性 眼の刺激性

急性毒性に関して未知の有害性を持つ成分の混合割合 : 0 - 1 %, 経口

刺激性

刺激性作用の評価:

in-vitroの膜障壁試験において決められた破過時間は、この物質が、1時間の暴露後に、14日以内に in-vivoにおいて皮膚壊死の原因になることが予測されることを示した。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性: 腐食性 (OECDテストガイドライン 435)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 回復不可能な損傷 (BASF試験)

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報 : 水酸化ナトリウム

刺激性作用の評価:

高腐食性！皮膚及び眼を損傷する。

記載物質に関する情報 : 水酸化ナトリウム

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 腐食性

データは本品の希釈水溶液によるものである。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

実験または計算によるデータ:

感作性なし本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報 : エタノール

感作性の評価:

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。

生殖細胞変異原性

記載物質に関する情報 : エタノール

変異原性の評価:

細菌類に対して変異原性を示さなかった。哺乳類の培養細胞に対して変異原性を示さなかった。哺乳類を用いた試験では、変異原性を示さなかった。

記載物質に関する情報 : ソジウムメチラート

変異原性の評価:

細菌類に対して変異原性を示さなかった。哺乳類の培養細胞に対して変異原性を示さなかった。哺乳類を用いた試験では、変異原性を示さなかった。この製品は、完全には試験が行われていない。これらの記述は、類似の構造もしくは、類似の組成の製品から得られたものである。

発がん性

記載物質に関する情報： エタノール

発がん性の評価:

国際癌研究機関（IARC）は、この物質をヒトに対する発癌性が認められるGroup 1に分類した。評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

記載物質に関する情報： ソジウムエチラート

発がん性の評価:

評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

生殖毒性

記載物質に関する情報： ソジウムエチラート

生殖毒性の評価:

動物試験の結果、高濃度の投与において繁殖障害が示唆された。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報： エタノール

生殖毒性の評価:

高用量で投与された際に生殖機能に悪影響を及ぼす可能性は否定できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

記載物質に関する情報： エタノール

反復投与毒性の評価:

この物質の反復経口摂取は肝臓の障害を引き起こすことがある。この物質の反復吸入摂取は、物質関連の効果の原因にならなかった。この物質は、高濃度の反復摂取により、抹消神経系に障害を与える可能性がある。この物質は、高用量の反復摂取の後、中枢神経系に障害を与える可能性がある。化学構造式に基づくと、反復投与において、神経毒性作用を排除する事は出来ない。

12. 環境影響情報

生態毒性

記載物質に関する情報： 水酸化ナトリウム

水生生物に対する毒性の評価:

濃度等の条件によっては、廃水処理施設に流入した場合に活性汚泥の分解活性を阻害する恐れがある。水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

pH値により強力な影響があります。データは、この物質の分解型に関するものである。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: NA-ETHYLATE SOL. 21 % / Na-Ethylate sol. 21 %

バージョン: 6.1

(30036708/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

記載物質に関する情報: エタノール

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 125 mg/l, カダヤシ (学名: *Gambusia affinis*) (その他, 止水式)

本品は、試験系のpH値を変化させてしまうため、結果については中和していないサンプルを参照する。文献データ

記載物質に関する情報: エタノール

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 13,000 mg/l, ニジマス (学名: *Salmo gairdneri* または *Onc* (魚急性試験, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。文献データ

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 40.4 mg/l, ネコゼミジンコ属 (学名: *Ceriodaphnia* sp. (その他, 止水式)

文献データ

記載物質に関する情報: エタノール

水生無脊椎動物:

LC50 (半数致死濃度) (48 h) 12,340 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (ミジンコ急性試験, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。文献データ

(48 h) 5,012 mg/l, *Ceriodaphnia dubia* (ミジンコ急性試験)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。文献データ

記載物質に関する情報: エタノール

水生植物:

EC50 (4 日) 675 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Chlorella vulgaris*) (藻類成長阻害試験)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。文献データ

記載物質に関する情報: エタノール

微生物/活性汚泥への影響:

毒性限界濃度 (16 h) 6,500 mg/l, プチダ菌 (学名: *Pseudomonas putida*) (その他, 水生の)

毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。文献データ

移動性

環境区分間の輸送評価:

製品の特性のため、試験は不可能である。

残留性・分解性

記載物質に関する情報：水酸化ナトリウム

記載物質に関する情報：エタノール

生分解性及び除去率の評価（水中環境）：

生分解性良好（OECD基準による）

記載物質に関する情報：エタノール

除去情報：

89 % ThOD (theoretical oxygen demand : 理論的酸素要求量) に対する BOD (14 日) (OECD テストガイドライン 301C、ISO 9408、92/69/EEC, C.) (好気性, MITI 基準 (OECD 301C) に準じた接種試料)

文献データ

84 % ThOD (theoretical oxygen demand : 理論的酸素要求量) に対する BOD (20 日) (その他) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥、未順化)

文献データ

生体蓄積性

記載物質に関する情報：エタノール

生体蓄積性の可能性評価：

n-オクタノール／水の分配係数 (log Pow) より、生体への著しい蓄積はないと考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報：

本品はそのPH値のために、一般に中和してから流す。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。未処理で河川等に流さないこと。

13. 廃棄上の注意

廃水処理施設に流す前に環境汚染管理当局の承諾を得ること。

[汚染された容器]：

汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送：

国連番号もしくはID番号： UN 2920

品名（国連輸送名）： 腐食性液体（引火性）（他に品名が明示されているものを除く。）（ナトリウムエチレート/ナトリウムエタノレート，エタノール）

国連分類（輸送における危 8, 3

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: NA-ETHYLATE SOL. 21 % / Na-Ethylate sol. 21 %

バージョン: 6.1

(30036708/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

陰有害性クラス):

容器等級: II

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項: 知見なし

海上輸送

IMDG

国連番号もしくはID番号: UN 2920

品名 (国連輸送名): 腐食性液体(引火性)(他に品名が明示されているものを除く。)(ナトリウムエチラート/ナトリウムエタノレート, エタノール)

国連分類 (輸送における危険有害性クラス):

8, 3

容器等級:

II

環境有害性:

非該当

海洋汚染物質: 非該当

使用者への特別注意事項:

EmS: F-E; S-C

Sea transport

IMDG

UN number or ID number: UN 2920

UN proper shipping name:

CORROSIVE LIQUID, FLAMMABLE, N.O.S. (SODIUM ETHYLATE/SODIUM ETHANOLATE, ETHANOL)

Transport hazard class(es):

8, 3

Packing group:

II

Environmental hazards:

no
Marine pollutant: NO

Special precautions for user:

EmS: F-E; S-C

航空輸送

IATA/ICAO

国連番号もしくはID番号: UN 2920

品名 (国連輸送名): 腐食性液体(引火性)(他に品名が明示されているものを除く。)(ナトリウムエチラート/ナトリウムエタノレート, エタノール)

国連分類 (輸送における危険有害性クラス):

8, 3

容器等級:

II

環境有害性:

環境に対する有害性の表示は必要ない

使用者への特別注意事項:

知見なし

Air transport

IATA/ICAO

UN number or ID number: UN 2920

UN proper shipping name:

CORROSIVE LIQUID, FLAMMABLE, N.O.S. (SODIUM ETHYLATE/SODIUM ETHANOLATE, ETHANOL)

Transport hazard class(es):

8, 3

Packing group:

II

Environmental hazards:

No Mark as dangerous for the environment is needed

Special precautions for user:

None known

IMO機器によるバルクの海上輸送**Maritime transport in bulk according to IMO instruments**

海上のバルク輸送は目的としない。
指針番号: 132

Maritime transport in bulk is not intended.

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第2石油類, 非水溶性

船舶安全法
引火性液体類 (JP)
該当物質

エタノール
労働安全衛生法
表示対象物

エタノール
労働安全衛生法
通知対象物

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。